テクニカルショウヨコハマ2010開く

三福工業 木本ゴム

高機能発泡体を広くPR ゴム板やプレス成形品展示

神奈川県下最大規模の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2010」が2月3―5日、横浜市のパシフィコ横浜で開催された。第31回となる今回は、「新たな技術で明日を拓く」がテーマ。ゴム業界からは三福工業（栃木県佐野市）、木本ゴム工業（東京都港区）が出展した。

三福工業の小間

木本ゴム工業の小間

◇三福工業

「テクニカルショウヨコハマ」には初出展となる三福工業は、高度のオレフィン系発泡技術を活用して開発した新製品の高弾性・特殊ポリオレフィン発泡体「エラスチックワン」及び低反発・特殊EVA発泡体「アブソマー」を小間の前面に展示し、両製品の上にスーパーボールなどを落とした際の、反発性の違いを体験できるようにアピールした。

そのほか、高精度のスライス加工で他社では困難な均一性を実現したフッ素ゴム発泡体の「ミツフクフォーム」や、耐熱複合弾性シートの「ミツフクシート」、導電性ポリエチレン発泡体の「ボルト」、リサイクル素材が原料の「バイオマスEVA」など、素材の選定から加工までの自社一貫生産システムにより製造した独自開発の各種高機能発泡体を数多く展示した。

さらに「エラスチックワン」を使用した等身大のマネキンを壁面にディスプレイしたほか、各種発泡体を青色や赤色などカラフルに着色加工した製品や粉砕加工品など、様々な加工事例のサンプルを数多く展示した。

◇木本ゴム工業

木本ゴム工業は、神奈川県内の新規顧客開拓のため6年連続で出展している。同社はゴムに対する顧客からの多様なニーズに対応する体制を構築しており、アピールポイントの「ゴムの素材屋」のプレートを掲げてPRした。

製品面ではNRやNBR、CR、シリコーンゴムなどの素材を緑・赤・茶・白などカラフルに着色したゴム板のサンプルのほか、ゴム板・ゴムマット類、コーナーガード、車止め、ノズルなど各種プレス成形品、リサイクルマット、ペンスタンドといったゴム製雑貨品など、工業用品から雑貨品まで幅広く展示した。

製造拠点である越谷工場（埼玉県越谷市）の工場設備や、全国一のシェアを有するシールド工法用エントランスパッキングの加工工程も写真パネルで紹介した。

ブリヂストン セーフティープロジェクト 活動計画発表

ドライビングレッスンなど

ブリヂストンは1月29日、ユーザーにタイヤの安全や日常点検の重要性について理解を深めてもらうための「2010年度 タイヤセーフティー・プロジェクト」活動計画を発表した。

同プロジェクトは今年で8年目。主な内容は、①同社テストコースで車を運転しながらタイヤ点検の方法とその大切さについて理解を深める「タイヤセーフティードライビングレッスン」（年6回開催）

②同社工場及び自動車教習所でタイヤの重要性や安全について学ぶ「タイヤセーフティーセミナー」（同社9工場、自動車教習所15校で開催予定）

③全国のショッピングセンターの来場者に、タイヤの日常点検体験や子供の安全、エコドライブについての情報を提供する「セーフティー&エコステーション」（全国6カ所で開催予定）

④4月8日「タイヤの日」前後に実施される全国一斉安全啓発活動――などの活動を計画している。